



第 1 日

国 語

(9 : 30 ~ 10 : 20)

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから10ページに、問題が一から四まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

— 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

文化祭で歌う『遠い日の歌』の、ソプラノのパート練習。オルガンで音を取りながら、一度通して歌い、二度目の練習に入る。すると、途中で、教室の後ろのドアが開いて、ソプラノのパートリーダーである琴穂が顔を出した。「ごめん！ 部活の片づけで遅れちゃった。」オルガンを囲んでいたソプラノの女子が一斉に歌うのをやめて、声の方向を見る。琴穂が顔の前で手を合わせて「ごめんごめん。」と言いながら駆け寄つてくる。「本当にごめんね。今どこ歌つてた？」「——いいよ、もう一度最初からやろう。」すぐに練習が再開され、琴穂も加わったが、歌い始める前に、マチの後ろで「¹琴穂ちゃん、いつも遅れてくるよね。」といふ小さな声が聞こえた。自分のことではないけど、ドキンとする。聞いてはいけない気がするのに、耳が勝手に声の続きを聞いてしまう。「リーダーなのに、やる気あるのかな。」琴穂は、朝練習を遅刻することが多い。その上、放課後も部活を理由に早めに練習を切り上げ、他のみんなを残して先に教室を出て行つてしまふことがよくあつた。

歌つた後で、それぞれグループごと、自分たちの歌の悪い部分について話し合う。教室の隅から、アルトの女子の声が聞こえてくる。自分たちのソプラノより歌声がまとまっているように聞こえて、このままじゃ合させて練習したときに声量が負けてしまうのではないか、つられてしまうのではないかと心配だ。アルトのリーダーであるみなみの声が一際よく聞こえる。

マチがみんなの方を見ていると、琴穂が「ねえねえ。」と話しかけてきた。てっきり合唱に関することだらうと振り向くと、小声になつて関係のない話をする。ふいに、マチの胸の中でたくさんのが感情が一度に揺れ動いた。「リーダーなのに、やる気あるのかな。」さつき聞いたばかりの声を思い出したら、悲しくなつた。本音を言えば、琴穂に真剣に練習して欲しいのはマチも同じだ。「ちゃんと練習、しようよ。」とつさに飛び出した声が我ながら冷たく聞こえて、驚いた。琴穂が「え。」と短く声を出す。□したその表情を見たら、もう一押し、声が止まらずに出でてしまった。「しつかりやろうよ。琴穂、遅れてきたのに、関係のない話したり、全然、みんなに悪いと思つてる様子がないよ。」琴穂が目を見開いた。ショックを受けたのだと、表情でわかつた。わかつた途端、喉元が苦しくなつて、それから全身が熱くなる。顔を伏せて、琴穂から離れた。ややあつて、背後から「わかった。」と琴穂の声が答えた。思ひがけず素直な声だつたせいで、琴穂が沈んだ様子なのが、振り返らなくても伝わつてくる。

練習が終わつた後で様子を見ると、琴穂は顔を俯けながら席に戻るところだつた。マチの胸を小さな痛みがちくりと刺した。そのとき、「マチ。」と呼びかけられた。さつき、琴穂の遅刻を責めていた子たちだ。^①琴穂のこと、ありがとう。マチみたいなまじめない子が注意してくれると助かるよ。」こつそりと囁くような声に「ううん。」と首を振る。感謝されるようなことは何もない。黙つて一人で席に着いた琴穂のことが気がかりだつた。

その日は一日中、同じ教室の中で琴穂と気まずい時間を過ごした。

帰る前に、図書室に本を返しに寄る。本と紙の匂いに包まれた大好きな場所に入った途端、全身から力が抜けて、泣き出しそうな気持ちになつた。明日から、²琴穂とどう顔を合わせればいいかわからなかつた。合唱練習は明日もあるのに。そのとき、図書室の奥^②の壁沿いに並んだ百科事典が目に留まつた。見えない『誰か』と続いている文通。次にメモを残すのはマチの番だつた。本を取り、いつもより長く、手紙を書いた。

『真面目だ、いい子だ、と言われると、ほめられているはずなのに、なんだか苦しくなる。はつきり言えないことを^③優しいって言つてくれれる人もいるけど、わたしは、本当は自分が人に嫌われたくないからそうしてゐるんだと思う。わたしは臆病^{おくびょう}です。』

次の日の朝練に、琴穂は遅刻もせず、時間より早く現れた。何事もなかつたかのように「さあ、練習するよ。」と明るい声を出してみんなの前に立つ。マチにも「マチ、おはよう。」と^④普段通り挨拶してくれた。その声にほつとして、マチも「おはよう。」と返事をする。けれど、琴穂が無理をしているんじやないかと、やつぱりまだ気になつた。

その日の放課後、図書室に急いで、ドキドキしながら本を開いた。昨日残した自分の長い手紙に、相手がどんな返事を残しているかを考えると、待ち遠しいような、怖いような気持ちだつた。本を開くと、返事はもう来ていた。いつもより長い。

『断れない、はつきり言えない人は、誰かが傷つくのが嫌で、人の傷

まで自分で背負つてしまふ強い人だと思う。がんばつて。』
——がんばつて。読んだ瞬間、胸がぐつと熱くなつた。手紙を抜き取つて、本を元に戻す。何度も何度も読んでから、お守りのように、そつと胸に当てた。便せんの内側が、あたたかく熱を持っているように感じた。

翌日の練習で、マチは³思いきつて、琴穂に自分の方から「おはよう。」と挨拶してみた。練習用のテープのセットをしていた琴穂が、驚いたように一瞬黙つてから、マチの顔を見て、それから、一呼吸ついて、微笑んだ。「おはよう、マチ。がんばろうね。」「うん。——テープ、借りてきてくれたの？ ありがとう。」「一応、リーダーだから。」照れくさそうに、琴穂がマチからぱつと目をそらした。その日から、ソプラノは、みんなだんだんと声が出るようになつていつた。

(辻村深月 「サクラ咲く」による。)

(注) 見えない『誰か』と続いている文通 — マチが校内の生徒と匿名で続いている文通。

1 ①～④の漢字の読みを書きなさい。

2 □にあてはまる最も適切な語句を、次のアーエの中から選び、その記号を書きなさい。

ア うんざりと イ にんまりと
ウ きょとんと エ しょぼんと

3 琴穂ちゃん、いつも遅れてくるよねには、琴穂に対するどのような気持ちが表れてますか。十字内で書きなさい。

4 琴穂とどう顔を合わせればいいかわからなかつたマチが、思いきり2

つて、琴穂に自分の方から「おはよう。」と挨拶してみたとあるが、次の文章は、そのように変化したマチの気持ちについて述べたものです。空欄Ⅰにあてはまる適切な表現を、三十字以内で書きなさい。また、空欄Ⅱにあてはまる最も適切な表現を、あとのアーエの中から選び、その記号を書きなさい。

マチは、（　　Ⅰ　）と心苦しく思つていたため、明日から琴穂とどう接すればいいかわからずいた。しかし、手紙の返事を読んだ翌日、マチは思いきつて自分から琴穂に挨拶をした。それは、返事に書かれていた言葉によつて、（　Ⅱ　）からである。

ア 勇気がわいた イ 冷静になつた
ウ 不安になつた エ あきらめがついた

5 この文章における表現の仕方について説明したものとして最も適切なものを、次のアーエの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 場面によつては琴穂の視点から情景や気持ちが描かれている。
イ 図書室の様子がマチの気持ちをたとえるように表現されている。
ウ 「とつさに飛び出した声」「明るい声」のような、声の描写とともに登場人物の内面や様子が表現されている。

エ 「歌つた後」「次の日」のような、時を示す表現を境として現在の場面と過去の場面が交互に描かれている。

二 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

たとえば、ジャングルの中であなた一人だけが生き残ったとしたら、果たしてどれだけ生存できるだろうか。サバイバルの専門知識がなければ、ほどなくケガや病気で死んでしまうことだろう。人間には獸のような牙きばもないし、うさぎや猫のように鋭敏な感覚もない。それなのに、私たちなぜ地球上でこれほどのさばつていられるのだろうか。

人間には優れた脳があると考える人がいるかもしれない。確かに、それもひとつだ。しかし、もうひとつ、注目されているのが「コミュニケーション能力」である。このコミュニケーション能力は、鋭い牙や速い足や鋭敏な感覚にもひけをとらないほどサバイバルにとって有利に働く。

コミュニケーション能力の第一の効果は、会話をすることで目標を共有し、そのための作業を分担することが可能になるということである。たとえば、狩りをする場合、獲物を追いかけて立てる役割とそれを待ち構えて狩る役割を分ければ、一人一人がばらばらに追いかけまわすよりもずっと効率がよい。コミュニケーションはいわば人の群れを組織に変えたのである。

第二の効果はさらに重要である。人間以外の動物の行動は主に二つのメカニズムによって規定される。

一つは生得的にプログラムされた行動パターンである。一般に本能などと呼ばれるもので、特定の刺激に対して特定の反応が生じるようにあら

かじめ体内に仕組みができている。捕食行動や性行動など、その種に特有の習性として①ミトめられるものだ。

〔A〕もう一つが個々の経験によって獲得される学習性の行動である。それぞれの環境の違いに適合できるよう、エサの獲得やキケンの回避に役立つ行動は自然に出現しやすくなる。たとえば、レバーを押すとエサが出てくる仕掛けの中にラットなどを入れておくと、試行錯誤のスエ、次第にレバーを押す行動が増えてくる。また、エサが出る条件を変えると、ラットはそれに合わせて面白いように行動パターンを変化させる。心理学では有名な実験だ。

〔B〕他の個体が同じ行動パターンを獲得するには、同じ経験をして学習しなければならない。ところが、個体から別な個体にそのコツが伝授されれば、試行錯誤を繰り返す必要はない。「この崖がけを降りてゆくとヤクソウがある」とか、「この色のキノコを食べると腹が痛くなる」とか、個人が経験して獲得した知恵を他者にも伝達できる。これがコミュニケーション能力の提供してくれたもう一つの利益である。たとえ、経験した個人が死んでも、次の世代がこれを継承してゆくし、また、これに新たな知識が付け加わってゆくことになる。〔C〕

このようにして、多くの知識が私たちの社会には蓄えられている。料理のレシピも医学の知識も、食料生産や工業の技術も、文学や絵画や映画などの芸術も誰かがどこかで見つけた知恵を寄せ集め、組み合わせ、体系化してきたものである。それを現代の私たちは受け継ぎ、有效地に使っているながら現代のこの生活を享受している。〔D〕

腹が減ればスーパーで食料を調達できる。喉が渴けば蛇口をひねればいいし、排泄物もボタン一つで清潔に処理できる。退屈になれば、テレビをつけてみるのもよい。スポーツ観戦でもドラマでも好きなものを楽しめる。よく考えてみるとすごいことだ。部屋の中を明るくするために、一人一人が電球を発明する必要はない。様々な技術やシステムは過去に誰かが作つたものだ。それを私たちは産まれたときから利用している。

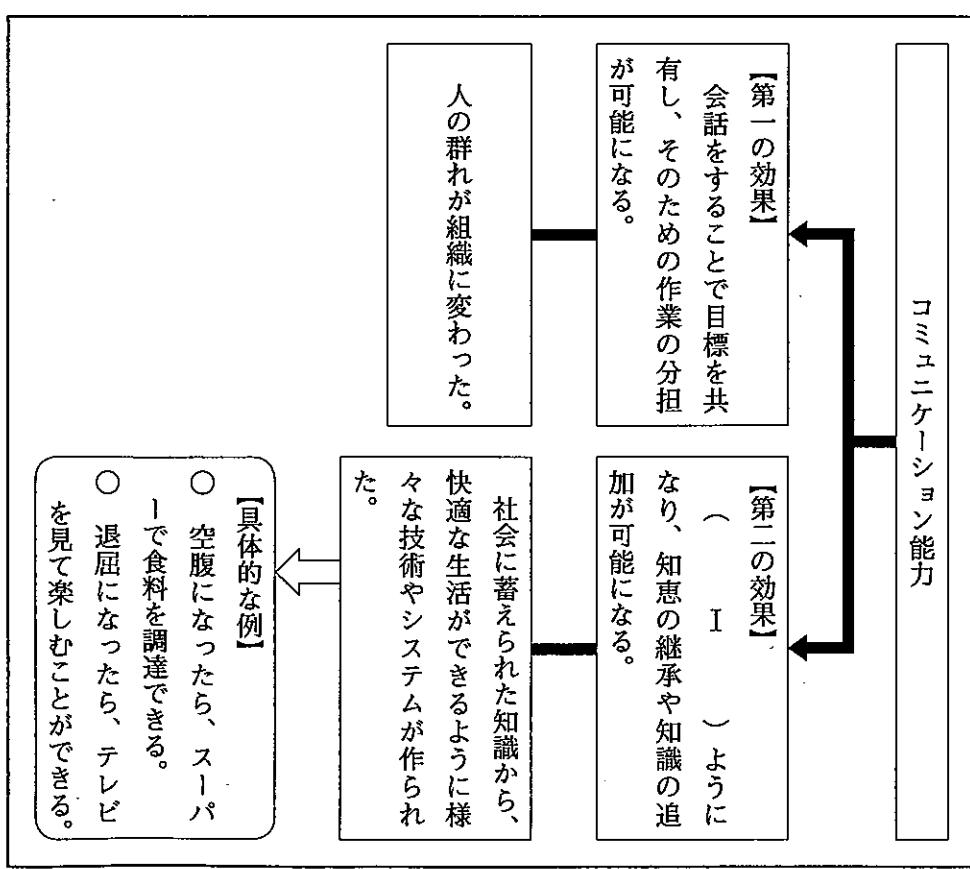
社会に生きている限り、他の動物に対しても私たちは圧倒的に有利な位置からスタートできるのだ。

社会は私たちが快適に生活できるよう長い年月をかけて作り、維持してきた人工環境である。ちょうど魚が水中でしか生きられないように、人間も社会なしには生きてゆくことができない。ジャングルで生き抜くためのサバイバルの知識でさえ、社会から与えられるものだ。一言で言えば、人間とはまさに社会的動物である。社会を作つて生活する動物というだけでなく、社会なくしては生きられない動物という意味である。社会とは、私たちを生かしてくれる生命維持装置そのものなのである。

(菅原健介 「羞恥心はどこへ消えた?」による。)

- 1 ①～④のカタカナにあたる漢字を書きなさい。
- 2 文章中には次の文が抜けています。この文を入れる最も適切なところを、「A」～「D」の中から選び、その記号を書きなさい。
- しかし、その学習効果も個体が死んでしまえば消えてなくなってしまう。

3 次の図は、コミュニケーション能力について、この文章における筆者の主張を踏まえて整理したものです。この図について、あとの(1)・(2)に答えなさい。



(1) 図中の空欄Ⅰにあてはまる最も適切な表現を文章中から二十五字以内で抜き出して書きなさい。

(2) 図中の【具体的な例】について、このほかの例として適切なものを見つけて、「……たら、……できる。」という形式によつて書きなさい。ただし、文章中の第九段落に挙げられている例は除きます。

4
1 人間も社会なしには生きてゆくことができない とあるが、次の文
章は、このことについて述べたものです。空欄Ⅱにあてはまる適切な
表現を二十五字以内で書きなさい。また、空欄Ⅲにあてはまる最も適
切な語を、あとの一覧の中から選び、その記号を書きなさい。

人間は、(Ⅰ) ため、本来はサバイバルにおいて他の動物より不利になるはずである。しかし、そのような人間が地球上で繁栄できたのは、社会の中で知恵を寄せ集め、組み合わせ、体系化したものを継承・利用してきたからである。その意味で、人間は社会からの(Ⅲ) を受けて生きているといえる。

ア 試練 イ 審判 ウ 称賛 エ 恩恵

問題は、次のページに続きます。

三 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

むかし青砥左衛門夜に入りて出仕しけるに、いつも燃袋に入れて持

出勤した

ちたる錢を、十文誤つて滑川へ落としたりけるを、よしさてもあれか

まあ仕方がないことよ
普通は通り過ぎるはずのところであつたが

しとてこそ行き過ぐべかりしを、その辺りの人家へ人を走らかし、錢五

十文を出して続松を十把買つて、これを燃やしつつ、川を浚へて終に十

文の錢を求め得たりける。さて言ひける、「十文の錢は、ただ今求めず

探しなけ

れば、水底に沈みてながく失せぬべし。五十文の錢は、商人の手に渉りて
永久に失つてしまふだろう

文の錢を求めるに之はう。彼と我となにの差別があるべき。かれこれ六十文の錢を
ながく失せず。彼と我となにの差別があるべき。あれこれとこれとで
商人 何の違ひもないだろう

□。豈に天下の利にあらずや。」と言ひしとぞ。五十文の錢を費
どうして天下の利益でないことがあらうか、いや天下の利益である
やして十文の錢を求むるは、常人の思案にていはば、勝手にはきはめ
一般的な人 自分の都合からすると、

てせぬをよしとする事なれども、道理においてすべき所を考へてかくす
きつとしない方がよいとする
このよう

るにこそ。いはば軽き事のやうなれども、抜群の見識なくてはなる
にするのだろう。
さざな

〔「駿台雑話」による。〕
まじき事ぞかし。

（「駿台雑話」による。）

1 □にあてはまる最も適切な語句を、次のアーエの中から選び、

その記号を書きなさい。

ア 失ふ イ 失はず ウ 求む エ 求めず

2 1 思案と熟語の構成が同じものを、次のアーエの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 公宮 イ 乗車 ウ 幸福 エ 遠近

3 2 やうなれを、現代かなづかいで書きなさい。

3 4 抜群の見識なくてはなるまじき事とあるが、次の文章は、このことについて述べたものです。空欄Iにあてはまる適切な表現を、現代の言葉を用いて二十字以内で書きなさい。また、空欄II・IIIにあてはまる語の組み合わせとして最も適切なものを、あとのアーエの中から選び、その記号を書きなさい。

青砥左衛門がとつた、（ I ）という行動は、（ II ）の損得を超えて（ III ）の損得まで考えに入れるという、普通にはなかなか実践できない抜群の見識に基づいた行動といえる。

ア （ II 天下 III 自分） イ （ II 天下 III 商人）
ウ （ II 自分 III 天下） エ （ II 商人 III 自分）

四 中学生の山田さんは、学校で食育推進に関するポスターを見かけ、朝食の摂取状況に関心をもつて調べました。(I)は、そのポスターに使われていた標語、(II)は、インターネットを使って見付けた資料です。これらを読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

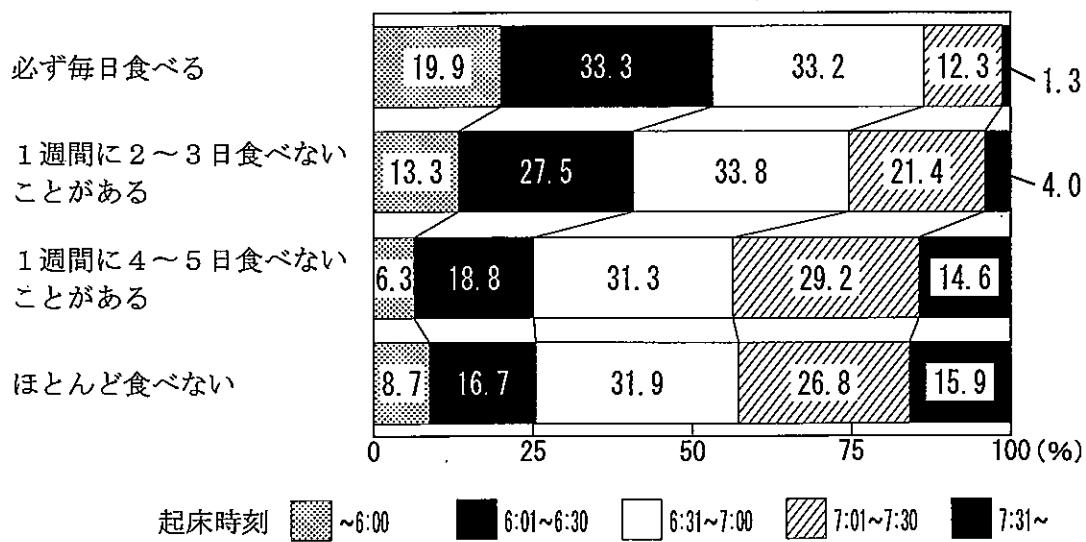
(I)

朝食は今日が始まる出発点

(内閣府 「食育推進に関する標語」による。)

(II)

朝食摂取状況と起床時刻の関係（中学校）



(日本スポーツ振興センター 「平成22年度 児童生徒の食事状況等調査報告書」による。)

1 (I) の表現の仕方とその効果について説明したものとして最も適切なものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 俳句のようなリズムを用いることによって、生活における朝食の有効性を厳かな雰囲気で伝えている。

イ 俳句のようなりズムを用いることによつて、朝食には心を落ち着かせる作用があることを暗示している。

ウ 朝食を出発点と表すことによつて、むしろ終着点となる夕食の

重要性が連想されるようにしている。

エ 朝食を出発点と表すことによつて、一日の生活における朝食の大切さが意識されるようにしている。

2 山田さんは、国語の時間に「朝食と生活習慣」というテーマで意見文を書くことになりました。そこで、山田さんは(II)から読み取つたことを根拠にして意見を述べるために、自分の意見と根拠をあらかじめ文章にまとめておくことにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1から条件3に従つて書きなさい。

条件1 二段落構成とし、第一段落には、自分の意見を書くこと。第

二段落には、その根拠を書くこと。根拠には、朝食を必ず毎日食べる人とそうでない人との違いに着目して、資料から読み取つたことを書くこと。

条件2 段落の初めは、一字分あけること。

条件3 百二十字以内で書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使つてもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。